

ガーナでそろばんプロジェクト 78号(2018年12月10日)

★★ そろばんを授業で取り入れてみると ★★

今夏の一時帰国も充分すぎるほど心身ともに充電をして、ガーナに戻り、前号でお伝えした通りに9月の授業ではそろばんのデモンストレーションを取り入れ、その様子を伝えたいと思っていた時に予想もしなかったアクシデントが起きてしまいました。新しく購入したパソコンがマイクロソフトのライセンス認証ができずに全く作業が出来なくなってしまうのです。今月に入りやっと問題が解決。ライセンス認証が問題だったのではなく、新しくパソコンを購入して設定する際にアカウント設定をどうやら間違えていたようで、3か月近くも「どうしたらよいのか?」と悩んでいた問題はアカウントの問題があることに突きとめてからは、スムーズに解決できたのです。今回の反省としては、もう一台ある使い慣れたパソコンの寿命を感じていながらも、まだ使えるという思いから、新しく購入したパソコンの設定を日本で済ませないでガーナに戻って来てしまったことが最大の原因でした。ガーナだと物事が日本のようにスムーズに進まない事は経験から十分に知っているはずなのに、「ガーナに戻ってからやろう」と安易に思ってしまったのが原因です。日本滞在中は、どんなに忙しくても、こうしたことは日本で済ませないといけないと痛感しました。ちなみに前号の77号は、使い慣れたパソコンで作成したのですが、その後に、メールの送受信や資料を作成すると、画面が揺らいだりフリーズを起したりして、報告書は完成していたものの送れずにいました。いずれにしても、3か月も報告が出来ずにいたことをお詫びいたします。

さて、9月はさっそく授業に指導用そろばんを使ってそろばんのデモンストレーションをいくつかのクラスで行いました。日頃、私の授業では工作を楽しみにしている子どもたちですが、そろばんの授業も楽しいようで、「トシコ、大きいそろばん持ってきて」とリクエストする子どももいました。



授業で、大きなそろばんを使ってやったことは、位どり、珠の読み方、実際に子どもに球を置いてもらう。繰り上がり、繰り下がりのない足し算引き算です。授業をおこなったクラスの子ども全員がそろばんの仕組みを理解したわけではありませんが、9月最後のそろばん教室の日は八人の子どもがやってきました。この時、新たな不安が生まれたのです。「こんなに来すぎても果たして指導がきちんとできるのか?」と。子どもが少なく指導しやすいけれど、今来ている子どもが来なくなったらどうしよう...という不安が生まれ、多すぎると、優しく指導できなくなってしまうのです。10月の教室の様子は、次号でお伝えします。

協賛

トモエそろばん様

報告 TOSHIKO